

令和7年3月3日

保護者 様

一宮市立黒田小学校
校長 柴田 泰子

令和6年度学校評価について（ご報告）

日頃は、本校の教育活動にご理解・ご支援を賜り心より御礼申し上げます。また、この度はアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。表題の件につきまして、下記のようにご報告いたします。

今後も児童が楽しく登校できる学校、地域の皆様から信頼される学校をめざして、今後も職員一同努力をしております。引き続き、ご理解・ご支援の程、よろしくお願いいたします。

記

1 児童アンケート（資料1）より

全体の傾向として、AとBを合わせた肯定的な回答の割合は例年とほぼ同じで、Aの回答の割合が小さくなっている項目が多くなっています。自信をもってAに回答する児童が増えるよう努力してまいります。

そのような傾向の中で『4 先生には何でも相談できますか』では、「A よくできる」の割合が大きくなりました（R5：31.9%→33.8%）。また、『3 授業でわからないことについて先生に聞きやすいですか』では、「A 聞きやすい・B 少し聞きやすい」と肯定的な回答をする児童の割合が大きくなりました（R5：85.9%→87.5%）。

「心の天気」や「教育相談」を含め、児童が安心して先生に相談できるよう一層努めてまいります。

学習面では、『2 学校の授業はよくわかりますか』で「A よくわかる・B わかる」の肯定的な回答の割合が93.8%でしたが、「A よくわかる」のみでは49.5%でした。

「A よくわかる」の割合が大きくなるよう、児童が「できた」「わかった」と実感できる授業を目指し研修に努めます。

『7 読書は好きですか』では、「A 好き・B まあまあ好き」の割合が年々小さくなっています。

読書の楽しさや面白さを味わわせられるよう今後も努力を続けてまいります。

生活面では、あいさつに関する項目『9 学校であいさつはできていますか』、『10 地域の人にあいさつはできていますか』で、ともに「A よくできる・B まあまあできる」の割合が小さくなりました。

社会生活の基本となるあいさつができるよう粘り強く指導してまいります。

2 保護者アンケート（資料2）より

『1 学校が出す便りやホームページの内容は適切である』の項目で「よく当てはまる」の割合が大きくなりました（R5：60.5%→70.0%）。

今後も学校の様子や必要な情報を、保護者の皆さんにわかりやすく伝えられるよう工夫してまいります。

『3 保護者の意見が教育活動に生かされている』では、「A よく当てはまる・B やや当てはまる」の肯定的な回答の割合が大きくなりました（R5：87.9%→94.0%）。

学校運営協議会やPTA、日々のご相談等ていただくご意見を生かし、保護者・地域にとっても魅力ある教育活動を推進できるよう努めてまいります。

『11 子どもは家庭学習の習慣が身につけている』では、肯定的な回答の割合が他の項目と比較して毎年小さい傾向にあり、今回「A よく当てはまる」の割合が小さくなりました（R5：47.3%→39.8%）。

学年が上がるにつれて自学自習の力が一層重要になってきます。学習習慣を身につける大切さを学校とご家庭が協力して、子どもたちに粘り強く伝えていけたらと思います。

今後も真摯に皆様のご意見を伺い、改善に努めていきます。記述いただいたご意見は次年度のより良い教育活動の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。